
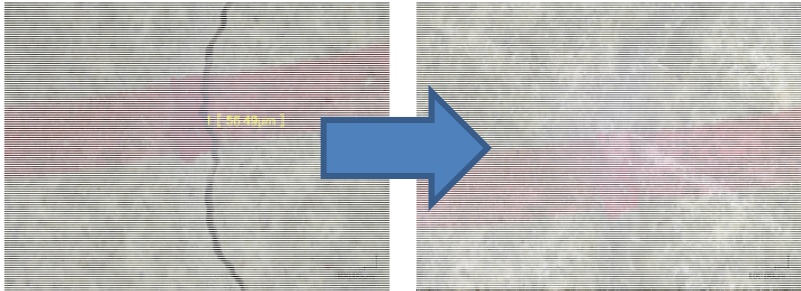


[様式 2]

提案書	
技術分野	①
提案件名	汚染水貯蔵設備における自己治癒コンクリート埋設型枠の適用
提案者	住友大阪セメント株式会社
<p>1. 技術等の概要（特徴、仕様、性能、保有者など）</p> <p>(1) 特徴説明</p> <p>①埋設型枠：通常のコンクリート用型枠は、コンクリート打設前に組立て、硬化後に解体するが、埋設型枠は硬化後に解体せず、コンクリート部材の一部として残すものである（写真-1 参照）</p> <p>②自己治癒コンクリート：水分供給が可能な環境においてひび割れを自動的に修復するコンクリートであり、東京大学生産技術研究所と共同で開発（写真-2 参照）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>写真-1 埋設型枠による施工事例</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>写真-2 ひび割れの自己治癒状況</p> </div> </div> <p>上記①，②による自己治癒コンクリート埋設型枠を汚染水貯蔵設備に適用することによって、ひび割れによる汚染水漏洩の危険性を抑止すると共に、汚染水貯蔵設備の建設コストを低減する</p> <p>(2) 性能</p> <p>①自己治癒可能なひび割れ幅：0.3mm 以内</p> <p>②ひび割れ修復時間：常時水分供給状態で 7 日程度</p>	
<p>2. 備考（以下の点など、可能な範囲で御記入いただけますようお願いいたします）</p> <p>(1) 開発・実用化の状況（国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己治癒コンクリートとしては NEXCO 西日本東九州道建設工事において試験施工の実績有り ・埋設型枠については製作工場の探索が必要（2014 年度上期検討） <p>(2) 開発・実用化に向けた課題・留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実環境下での自己治癒可能ひび割れ幅、ひび割れ修復時間の把握 <p>(3) その他（特許等を保有している場合の参照情報等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己治癒関連技術で計 12 件の特許出願 	